

大東市のだいでころ ~財政状況をお知らせします~

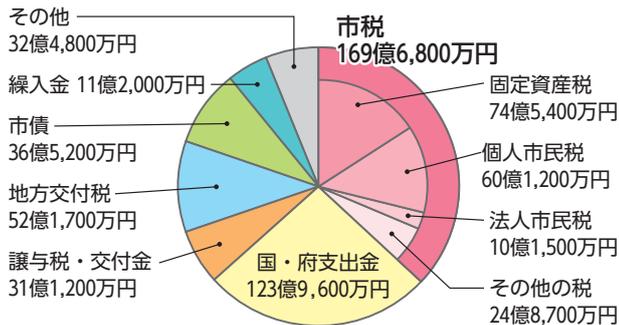
広報「だいてう」6月号と12月号では毎年、市の財政状況をお知らせしています。

一般会計当初予算 令和2年度の収入と使い道



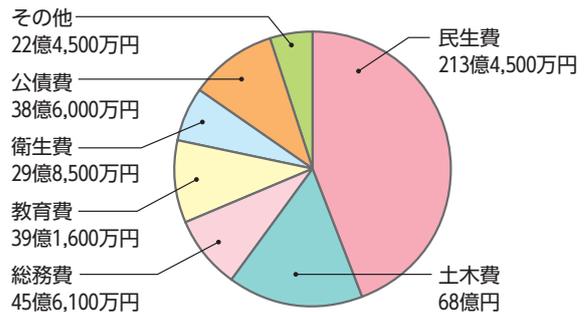
予算は一般会計と特別会計に分かれているよ。一般会計は、市の会計の中心となるもので、福祉、教育、生活環境、まちづくりなど基本的な施策を行うための会計だよ。特別会計は、特定の収入で特定の支出をまかなうために一般会計とは別に経理するもので、国民健康保険や介護保険などがあるよ。

歳入(収入) 合計457億1,300万円



譲与税・交付金は、国がいったん集め、計算し直して都道府県、市町村に配分されるものです。

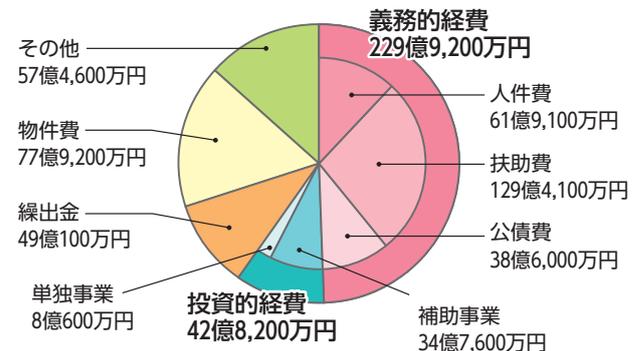
歳出(目的別に分けた支出) 合計457億1,300万円



支出を目的別に分けると、児童・老人などに対する福祉に代表される民生費が大きなウエイトを占めています。

今年度の当初予算は「骨格予算」を編成しているんだ。市長選挙がある年については、重点施策の方針が未定であることから当初予算では義務的経費などを中心とした予算編成となっていて、これを「骨格予算」と呼んでいるんだ。それに対して、当初予算で計上していなかった重点施策などの経費を「肉付け予算」といい、市長選挙後に補正予算として編成することになるんだ。これから行われる6月の市議会での予算案を審議するんだよ。

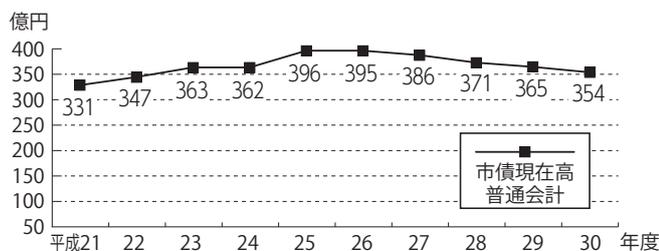
歳出(性質別に分けた支出) 合計457億1,300万円



支出を性質別で分けると、義務的な経費と投資的な経費に大きく分けられます。予算全体に占める義務的な経費の割合は、低い方が望ましいのですが、投資的な経費が大きすぎると、将来、借金返済(公債費)となって市の財政を圧迫することもあります。



市債の現在高と推移



市民1人当たり：26万2,365円(昨年より1万2,057円減)

会計区分	令和2年 3月31日現在	平成31年 3月31日現在	増減額
一般会計	315億2,000万円	330億7,800万円	▲15億5,800万円

※一時借入金の現在高の状況は、一般会計、国民健康保険、交通災害共済、火災共済、介護保険の各会計とも0円です(令和2年3月31日現在)。

市債って何だろう？

市の借金のことを「市債」と言うよ。公共施設や道路の整備をするときに、すべてを税金などでまかなってしまうと、他に必要な仕事やサービスができなくなってしまうので、市債を発行して分割払いにすることで毎年の財政負担を平準化させているんだよ。

都市計画税の状況

区分	2年度当初予算額
都市計画事業費 (イ)	9億 1,300万円
地方債償還額 (ロ)	23億 9,000万円
合計(イ)+(ロ) (ハ)	33億 300万円
(ハ)の財源内訳	
地方債 (ニ)	7億 600万円
国・府支出金 (ホ)	5,100万円
負担金その他 (ヘ)	5,000万円
都市計画税収入額 (ト)	15億 4,300万円
一般財源 (チ)	9億 5,300万円
合計	33億 300万円
充当割合 (ト) / {(ト)+(チ)} × 100	61.8%

都市計画税は、街路や公園、下水道など都市計画事業の経費にあてるために納めていただいている税金で、令和2年度は表のように使う予定です。

市の財産

令和2年3月31日現在

土地	876,797㎡ (令和元年9月30日より386㎡減) 主な増減内容：普通財産の処分(売払い)による減
建物	291,114㎡ (令和元年9月30日より464㎡減) 主な増減内容：普通財産(旧子ども発達支援センター本館)取壊しによる減
財政調整基金	48億2,400万円 (令和元年9月30日より4,400万円増)
その他の基金	131億5,000万円 (令和元年9月30日より7億4,800万円減)

【用語説明】財政調整基金…予期しない収入減少や、支出増加などに備えるとともに、長期的な視野に立った財政運営を行うために、財源に余裕のある年度に積み立てておく貯金のようなもの。

各会計の令和元年度予算執行状況(繰越予算分を除く)

令和2年3月31日現在

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率%	支出済額	執行率%
一般会計	496億5,600万円	413億3,200万円	83.2	402億2,100万円	81.0
特別会計	267億 800万円	235億3,900万円	88.1	234億1,500万円	87.7
合計	763億6,400万円	648億7,100万円	85.0	636億3,600万円	83.3

一般会計、特別会計とも会計年度は3月31日で終わっていますが、5月末まで収支を整理する期間があり、この間に収入支出を行うものは収入・支出済になっていません。そのため最終的な執行率はこれより高くなります。

予算額に対して、3月31日までの収入・支出の割合を示した表だよ。



平成30年度決算における健全化判断比率

	大東市の比率など	早期健全化団体
実質赤字比率	赤字なし	12.15%
連結実質赤字比率	赤字なし	17.15%
実質公債費比率	4.6%	25%
将来負担比率	算定なし	350%



健全化判断比率ってなんだろう？

実質公債費比率…市の財政規模に対して、市債の返済額がどのくらいの割合を占めるのかを表す指標で、25%に達すると計画を立てて借りすぎたお金の解消に努めなければならないよ。平成30年度決算では4.6%で、全国市区町村平均の6.1%と比べても、適正な水準に保たれているね。

将来負担比率…市債などの将来の負担が重くなりすぎているかを示すもので、市区町村(政令市を除く)では350%に達すると、計画を立てて解消に努めなければならないよ。平成30年度決算では、全国市区町村平均は28.9%だったけど、大東市は市の貯金にあたる基金など、市債の返済に充てられる財源が将来負担額を上回っているのよ、将来負担比率の算定値はなかったよ。つまり、今のところ将来負担が重くなりすぎている状況ではないと言えるよ。

プライマリーバランス(基礎的財政収支)の状況

平成30年度一般会計等決算	17億円の黒字
---------------	---------



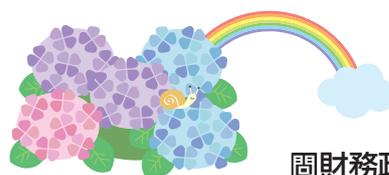
プライマリーバランスってなんだろう？

プライマリーバランスとは、国や自治体の財政収支の状況を表す指標で、新たな借金の借入額を除いた歳入と借金の返済費用を除いた歳出の収支バランスのことを言うよ。

プライマリーバランスが黒字の場合、新たな借金が返済額を下回っており、借金に頼らない範囲で行政サービスを実施している状態ということになるんだ。

これからも健全な財政運営を行います

ホームページでは、中期財政収支見通しや、全国レベルで財政状況を比較した「財政状況資料集」など、より詳細な資料を掲載しています。ぜひご覧ください。



財政局政策室 ☎ 870・0405